

産科医療における 無過失補償制度

を考える緊急シンポジウム

日時：2007年2月12日(祝) PM 13:30~16:15 (受付13時~)

場所：アルカディア市ヶ谷 6階 霧島

<所在地> 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL: 03-3261-9921

<交通> 地下鉄(有楽町線・南北線・新宿線)、JR中央線「市ヶ谷駅」徒歩約2分

—— <第1部> 医師・弁護士らによる講演 ——

- 産科医療被害の実態をよく知る立場から
出元明美さん(「陣痛促進剤による被害を考える会」代表)
- 産科医療裁判の実情をよく知る立場から
堀 康司さん(弁護士・「医療事故情報センター」嘱託)
松井菜採さん(弁護士・「医療問題弁護団」産科部会幹事)
- 産婦人科医療の現場をよく知る立場から
打出喜義さん(医師・「金沢大学病院」産婦人科) 他

—— <第2部> パネル・ディスカッション ——

●医療現場や医療裁判の実態は制度の草案に反映されているか?

昨年11月末、自民党政務調査会等は今秋からの運用を目指して「産科医療の無過失補償制度の枠組み」をまとめました。そこに示された無過失補償制度の姿は、実際に医療事故に遭った患者の気持ちが反映されているでしょうか?。会場の医療関係者・司法関係者・医療被害者からの発言を元に、あるべき補償制度、あるべき産科医療のシステムについて第一部の講演者と共に議論をします。【司会：勝村久司(陣痛促進剤による被害を考える会)】

予約不要で、どなた様でもご自由にご参加頂けます。(会場定員160名)
参加費：1000円(資料代込)、お問い合わせ等は下記主催団体事務局まで。

主催：「陣痛促進剤による被害を考える会」(Tel)0898-34-3140
(メール)a-demoto@icknet.ne.jp (HP)http://homepage1.nifty.com/hkr/higai/

共催：「医療事故情報センター」・「医療問題弁護団」ほか